

乙訓保健所管内の感染症発生動向調査による週報

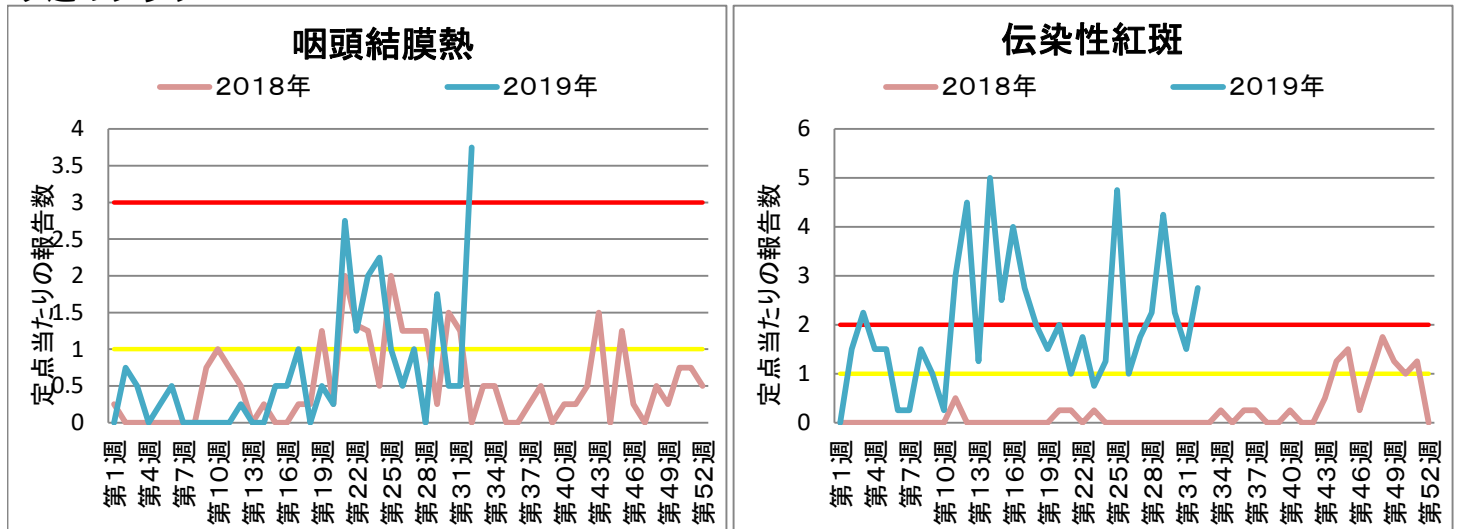
(インフルエンザ定点、小児科定点、眼科定点、全数報告)

第 32 週 2019年8月5日 ~ 2019年8月11日

今週のコメント

- 咽頭結膜熱の報告が増加しました(定点あたり3.75)。この疾患はプール熱とも呼ばれ、発熱、咽頭炎、眼症状を主とする小児の急性感染症で、アデノウイルスが原因です。感染経路は飛沫感染と接触感染です。
- 伝染性紅斑の報告も再度増加しました(定点あたり2.75)。この疾患はリンゴ病とも呼ばれ、両頬に紅い発疹が出ることもある小児に多い病気です。感染経路は飛沫感染と接触感染です。
- RSウイルス感染症の報告は多めに推移しています。この疾患はここ数年、夏から流行が始まっています。症状は鼻汁・発熱、のち咳が出ます。生後数か月以内の乳児では細気管支炎や肺炎となることがあります。飛沫感染と接触感染が主です。
- 結核の報告が2件、風しんの報告が1件ありました。

今週のグラフ



* 赤線 流行警報基準値です 黄線 警報継続基準値です

今週の報告状況

疾病名	定点当たりの報告数	疾病名	定点当たりの報告数
インフルエンザ	-	伝染性紅斑	2.75
RSウイルス感染症	0.75	突発性発しん	0.75
咽頭結膜熱	3.75	ヘルパンギーナ	5.00
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1.25	流行性耳下腺炎	1.25
感染性胃腸炎	8.00	急性出血性結膜炎	0.25
水痘	0.50	流行性角結膜炎	-
手足口病	2.75		
1~4類、5類全数報告疾病			
結核(2人)、風しん(1人)			

定点当たりの報告数 = 1週間の報告件数総数 / 定点数

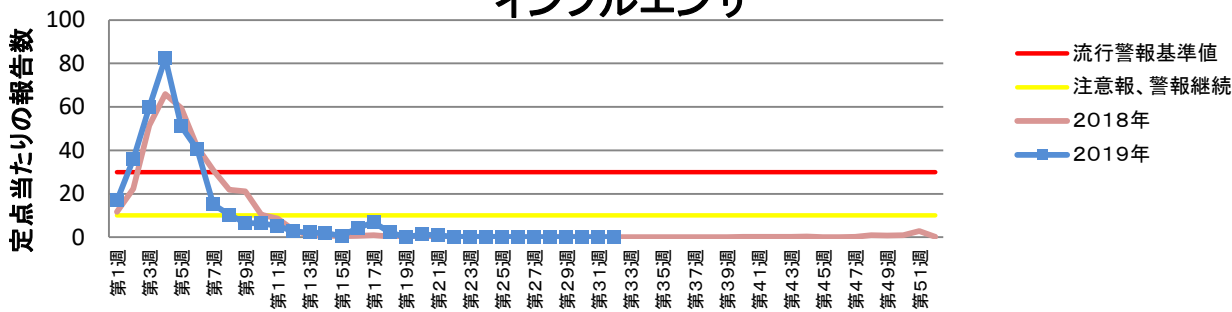
- * 乙訓管内 インフルエンザ定点 : 7箇所
- 小児科定点 (インフルエンザ以外の疾病) : 4箇所
- 眼科定点 : 1箇所

参考資料等

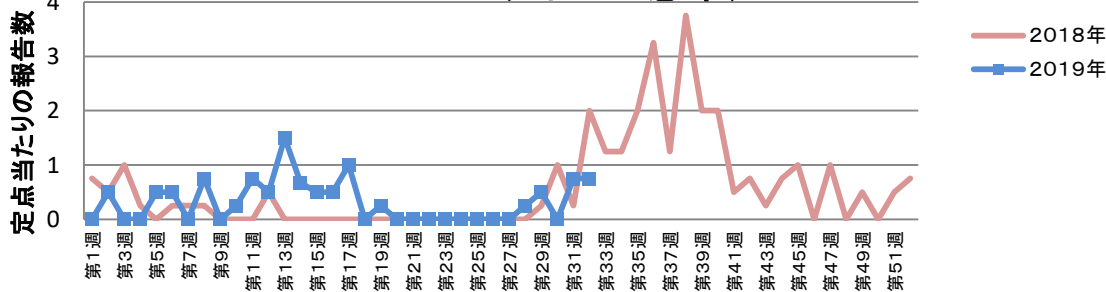
報告週対応表 <http://www.nih.go.jp/niid/ja/calendar.html>

乙訓保健所管内定点当たり報告数推移

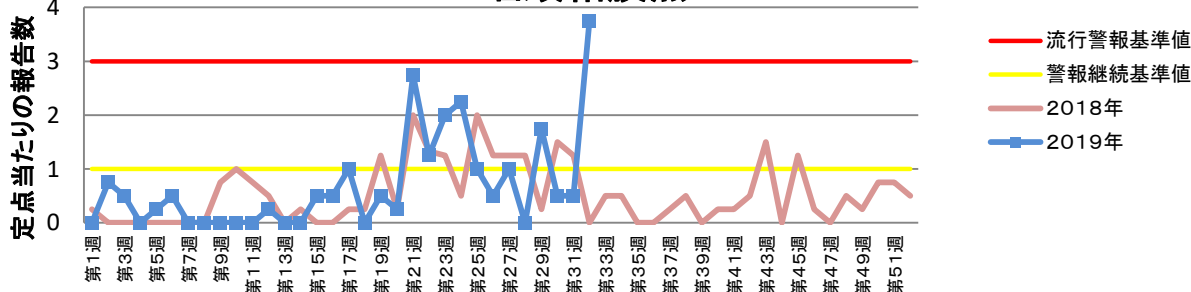
インフルエンザ



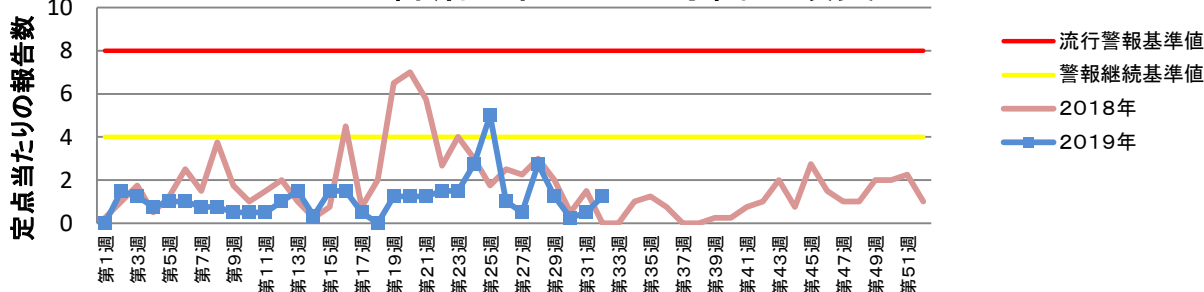
RSウイルス感染症



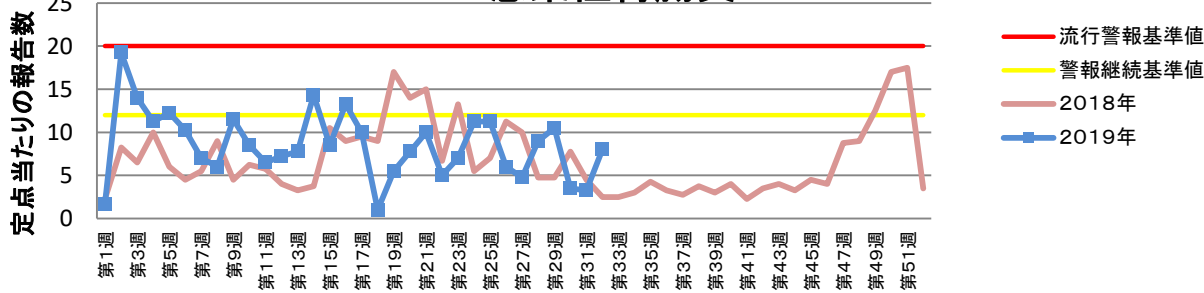
咽頭結膜熱



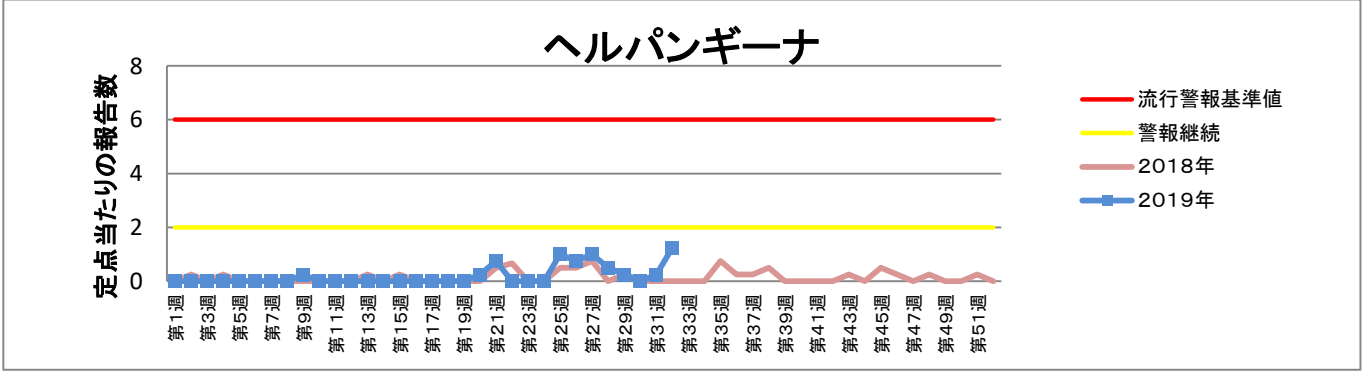
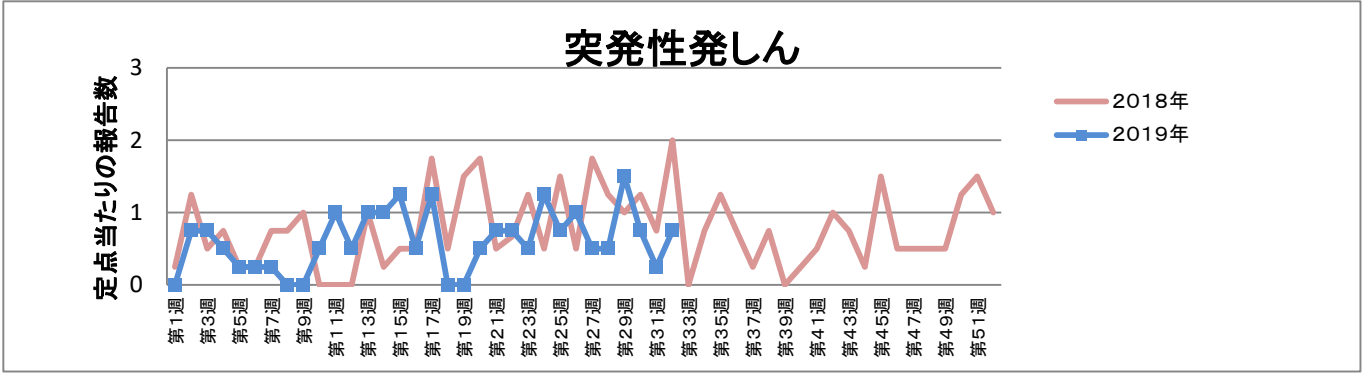
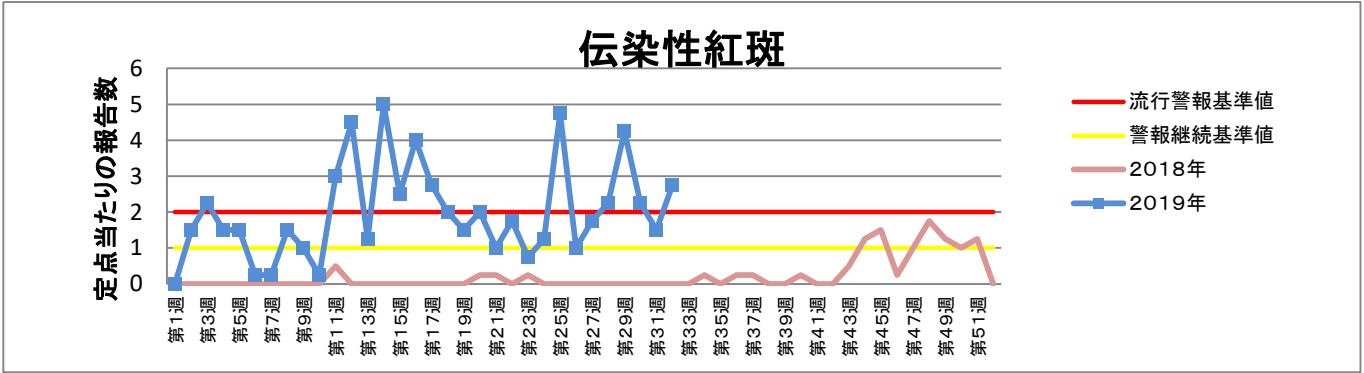
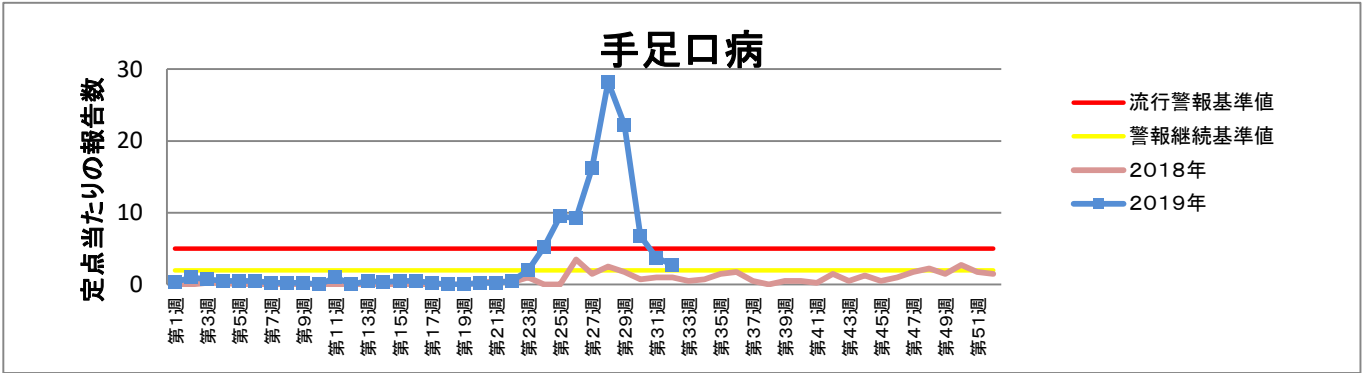
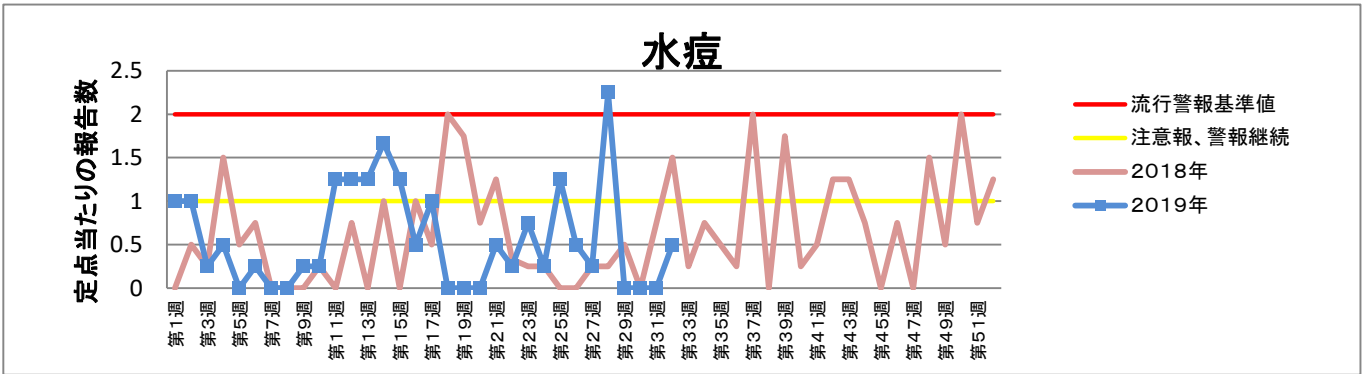
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎



感染性胃腸炎

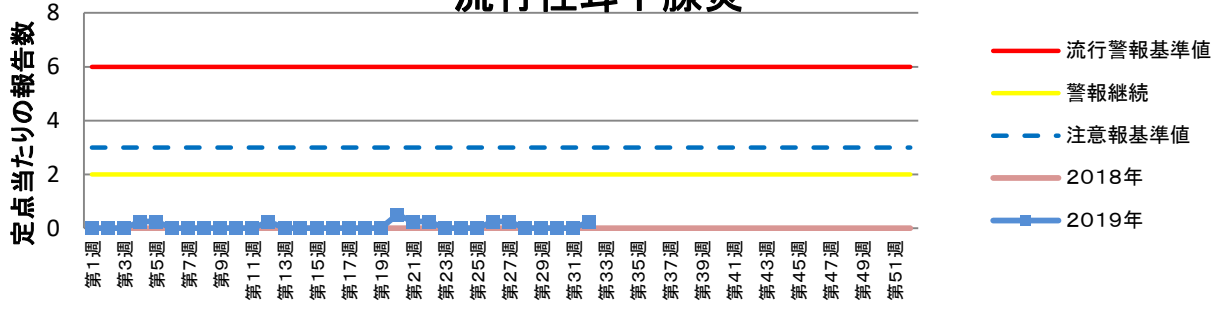


乙訓保健所管内定点当たり報告数推移

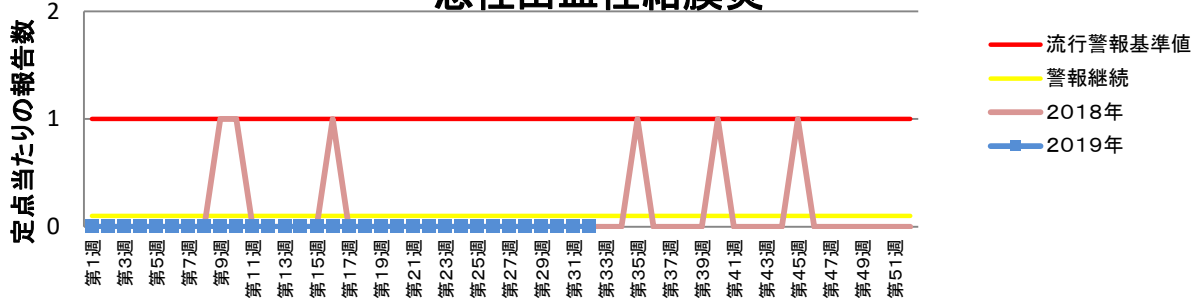


乙訓保健所管内定点当たり報告数推移

流行性耳下腺炎



急性出血性結膜炎



流行性角結膜炎

